

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English A		
英文授業科目名	English A		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	菅原 恵子 (学内連絡教官 佐藤 美弥子)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
k-sugawa@agape.plala.or.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
現代の科学技術が主に健康・環境・福祉の分野と交わる領域から、誰もが関心を寄せる身近な話題やホットなトピックを選んだ教科書を使用する。IT,食べ物、薬物、エネルギーなど科学的テーマについて書かれた教科書を読み、読解力をつける。また読んだ内容に関して各自の考えを英語で表現することにより、作文力を養成する。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
Our World Now : Technology, Health and the Environment Improving Your Reading and Communication Skills 金澤洋子 日高正司 ジョン R. ブラウン 著 (発行所)南雲堂

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業では、説明、質問などは日本語を用いるが、可能な範囲でなるべく英語を使う。まず本文に出てくる重要単語を、意味の確認・使用を通して学びます。次に英文を読んで大筋で必要な情報を読み取るといった訓練を行い、英文の難易度に応じて精読を進める。Main Ideaの把握、内容理解確認のエクササイズを行い英語力の向上を図る。最後にテーマに関する各自の意見を構築し、英文にする。授業には質問も含め積極的に参加することを望みます。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

積極的に授業に参加し、活動することが高い評価を得られる。各課毎の各自の意見をまとめた作文、簡単なエクササイズの成績評価、何よりも授業への参加度が平常点とされ、全体の評価の50%となる。残る50%は期末試験の結果による。授業の性質上毎回の出席は不可欠である

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等は電子メールで受け付けます。

### 【学生へのメッセージ】

授業には積極的に参加することを望みます。必ず教科書の予習をしてきてください。また、英語を使う時、間違いを恐れなくてコミュニケーションが成立することを重視してください。

### 【その他】